

温かい飲み物への支出

- 家計調査（二人以上の世帯）結果より -

新年を迎え、皆様はいかがお過ごしでしょうか。

寒さも一段と厳しくなり、温かい飲み物が欲しくなるこの季節ですが、今回はその中からコーヒー、ココア・ココア飲料、乾燥スープ^注についてみてみましょう。

注）乾燥スープには、スープの素、ポタージュの素、インスタントみそ汁などが含まれます。

冬に向かって増える支出

まず、月別支出金額指数をみてみましょう。ココア・ココア飲料は、気温が下がる秋から春にかけて支出金額が多く、一方、コーヒーは12月に支出金額が特に多くなっています。また、乾燥スープは10月から2月にかけて支出金額が多くなっています（図1）。

図1 月別支出金額指数(平成19～21年平均)

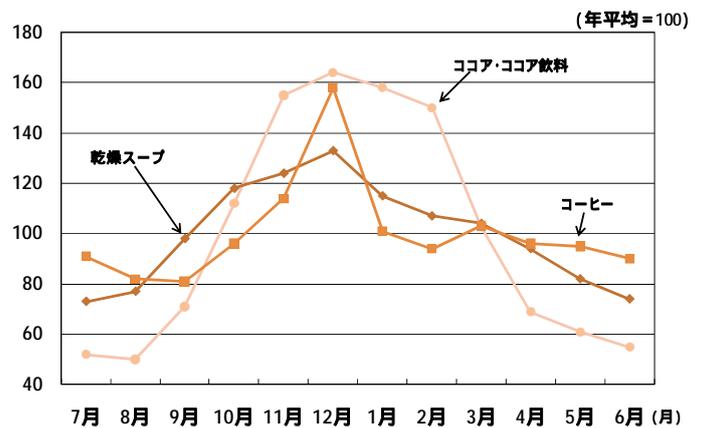
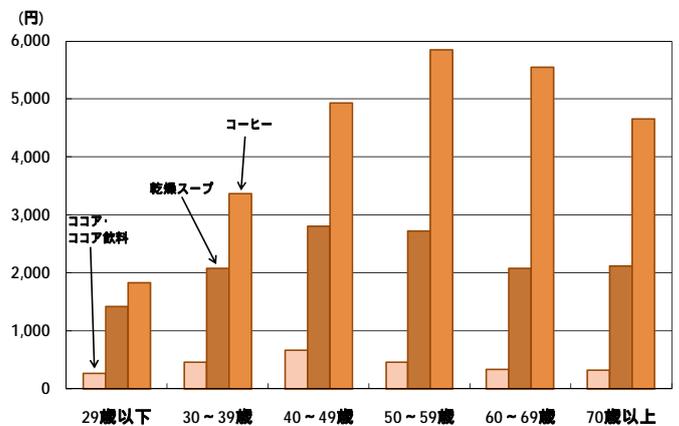


図2 世帯主の年齢階級別の支出金額(平成21年平均)



50・60代に多いコーヒーへの支出

次に、世帯主の年齢階級別の支出金額をみてみましょう。すべての年齢階級においてコーヒーへの支出が最も多く、特に50～59歳及び60歳～69歳の年齢階級で多くなっています。一方、乾燥スープとココア・ココア飲料は40～49歳の年齢階級で最も支出金額が多くなっています。

また、年齢が上がるにつれて、コーヒーと乾燥スープの支出金額の差が広がっていることが分かります。特に50～59歳の世帯以降では、コーヒーへの支出金額は乾燥スープの2倍以上となっています（図2）。

コーヒーへの支出は盛岡市がトップ

最後に、地域による品目別ランキングをみていきましょう。コーヒーでは盛岡市が、ココア・ココア飲料では那覇市がそれぞれ1位、乾燥スープでは宇都宮市が1位となっています（図3）。

図3 都道府県庁所在市別^注支出金額ランキング(平成19～21年平均)

	コーヒー	ココア・ココア飲料	乾燥スープ
1位	盛岡市	那覇市	宇都宮市
2位	奈良市	前橋市	さいたま市
3位	金沢市	仙台市	長野市
4位	京都市	新潟市	福岡市
5位	徳島市	山口市	金沢市

(注) 川崎市及び北九州市を除く